

## 入試直前の勉強方法を考える

開倫塾

塾長 林 明夫

## 1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

そろそろ冬休みになりますので、今日の放送では、主に受験生の皆さんに向けて「冬休みをどのように過ごしたらよいか・年末をどのように過ごしたらよいか」についてお話をさせていただきます。

## 2. 入試直前の勉強方法を考える

(1)明日の12月18日には下野新聞社の模擬試験がありますが、一番大切なことは受験生としての自覚を持つことだと思います。自分は受験生であると自覚して、明日の模擬試験に臨んでいただきたいと思います。

(2)また、年が明け1月になりますと大学を受験する皆さんには大学入試センター試験があり、高校を受験する皆さんには4日か5日頃から私立高校の学業特待入試が始まります。つまり、中学校3年生にとっては3週間後に高校の入学試験、高校3年生にとっては1か月後に大学のセンター試験がありますから、冬休みは本当に真剣に勉強しなければなりません。

(3)そこで今、一番大切なのは、自分は受験生であると自覚を持って勉強することです。なぜかと言いますと、受験生としての自覚を持つと、勉強の仕方を一所懸命に工夫しますし、勉強時間をいくら長くしてもそれが苦にならないからです。

一方で、自覚が足りないと自分が何をやっているのかわかりませんので、勉強の仕方を工夫することもなく、勉強時間も長くはとれなくなります。そうすると、自分の行きたい学校・希望校に合格する可能性がなかなか高くなりません。ですから、自分自身で勉強の方法を工夫して、勉強時間を最大限に多くするには、自分は受験生なのだという自覚を持って机に向かうことが大事であると思います。

(4)人間はものごとをするときに、その「意味」を自分自身でよく納得して、深く自覚をすればするほど、驚くようなエネルギーを出します。勉強をするときも同じで、「学習」する意味を深く「自覚」すればするほど、勉強時間は長くなり、勉強方法も工夫するようになります。そして最終的には、学習効果も高まります。ですから、学習の効果を上げるために自分は受験生であると自覚し、その上で勉強の仕方をよく考え、勉強時間を長くすることが、冬休みの過ごし方として一番大事なことであると思います。(5)入試直前ですので、このようなことは当たり前ですが、自覚が足りなくてボーッとしてしまう方もたくさんいらっしゃいます。もしかすると、受験生でありながらあまり勉強しない方は半数以上いるかも知れませんね。もっと言えば、自覚のないまま試験に臨んでしまう方も6割あるいは7割ぐらいいらっしゃるよう見受けられます。ぜひ全員の皆さんに受験生としての自覚を持っていただきたいと思います。

(6)勉強の仕方はどうしたらよいか。言うまでもありませんが、自分で勉強する教材を科目ごとに1

冊か2冊決めて、それをひたすらやることです。入試まではあと1か月足らずですので、今から、いろいろな教材をあれこれやろうとしても全部はできません。ですから、この1か月以内にこの教材とこの教材をやるんだと1～2冊を明確に決めて、それをすみからすみまでやり切ろうと決意して下さい。あれもこれもと考えると全部が中途半端になってしまいますので、それは避けましょう。これをやればよいのだという教材を1つか2つ決めて、それをひたすらやり切るのが、試験勉強では一番大切です。

- (7)同時に、過去に出題された試験問題をひたすら解くことも大切です。例えば、大学入試センター試験であれば過去15年分ぐらいの問題が全部載っている赤本と呼ばれるものが出ていますので、そこにある問題をひたすら解いて下さい。できれば、1回だけでなく5～6回は同じ問題を解くことが大切であると思います。
- (8)高校入試を受ける方は、1月初めに行われる私立高校の学業特待入試の過去に出題された問題が公表されていますので、これを5～6年分解いて下さい。これも1回だけではなく、同じ問題を2回、3回、4回、5回と解いていきましょう。5年分の過去問を5回やれば万全です。
- (9)このように教材を1つか2つ決めてやり切ること、私立高校の学業特待入試を受験する方は過去に出題された問題の5年分ぐらいを5～6回繰り返し解くこと、大学入試センター試験を受ける方は過去15年分ぐらいの問題を5～6回繰り返し解くこと、このような両刀遣いで勉強することが最も効果的です。得点が伸び、学力もつきますので、ぜひやっていただきたいと思います。
- (10)それについても足りないのは勉強時間です。受験生はどのくらい勉強すればよいかといいますと、入試本番1か月前の受験生であれば睡眠時間以外はすべて勉強に当てるくらいの覚悟が必要であると私は思います。
- (11)睡眠時間は高校を受験する方も大学を受験する方も6～8時間は必要です。大学入試を受ける方は6時間ぐらいでよいでしょうから、1日24時間から睡眠時間6時間を引いた18時間ぐらいは勉強することができます。高校入試を受ける方は15歳ですから、8時間ぐらいは寝たほうがよいです。24から8を引くと16ですから、16時間ぐらいは勉強することが可能です。
- (12)このように睡眠時間以外はすべて勉強するつもりで1か月間机に向かえば、相当勉強することができます。ぜひ勉強時間を十分に取って下さいね。

加えて、お風呂に入る時間を少し短くする。ご飯だけはゆっくり食べる。テレビ・ゲーム・ケータイなど勉強の妨げになることは極力避けるようにし、勉強時間を確保することが大事だと思います。ただ、トイレはゆっくり入ってスッキリしましょう。

このように時間をきちんと取らないと身体の健康に差し障りのあること、つまり睡眠時間や食事の時間やトイレの時間以外はなるべく時間を切り詰めて勉強時間を確保していただくと、非常に充実した1か月が過ごせると思います。

### 3. おわりに

今日は、入学試験が間近になりましたので、受験生の皆さんのためにどのように勉強したらよいのかについてお話をさせていただきました。自覚を持つこと、勉強の仕方を工夫すること、勉強時間を長くすることが大事で、睡眠時間以外はすべて勉強に当てるつもりで取り組んでほしいというお話です。皆さん、頑張ってくださいね。